

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 4月 23日

事業所名 きらとまなぶ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		○目的に対応した部屋がある。	○部屋数はありますが、広いわけではないので、人数によって部屋を開放し使っている。
	2	職員の配置数は適切である	5		○職員が少ない所に職員を置く。 ○きらとまなぶ・らいふの職員間で臨機応変に対応している。	○未就学のお子様が増えたので、午前中勤務の保育士などを配置し対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			○ドアの隙間など手を挟むところを確認し、防止策をしていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			○朝の朝礼が法人内になったので、話し合う時間をしっかり作っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			○保護者アンケートで出た意見を話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			○公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		○相談支援が出来たので、願うするかを検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			○年の研修ガンチャートを作成する。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成して子どもの適応行動の状況を把握するため	5			○課題など職員と話し合っている。もう少し簡単にアセスメントが出来ればと検討中。
	10	に、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			○アセスメントツールを変えるのに検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			○みんなで話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			○子どもたちのニーズに合わせて考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			○長期休暇の前にはしっかりと話し合う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		○毎朝の朝礼で確認し合っている	○朝の朝礼で話し合うことで、すぐの支援に活かせるようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			○送迎があるので、話せない時には午前中に話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			○支援の終わりには、記入できるようにしていく。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			○ガイドラインを職員にも研修し説明していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		○送迎時間の確認不足があり、遅れることもあるので時間の確認を2重にする。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			○電話や面談で話し合っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			○引継ぎ資料を作成し、保護者様や相談員に渡している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			○児発センターに児童の様子を見に行かせてもらっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	○事主催の行事に参加している	○交流会自体はないので、検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5			○毎年度参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			○面談や送迎時に保護者様と話すようにしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5		○保護者対応の研修会を設けている。	○研修会を年度で考えていくようにする。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			○利用者負担はしっかりと把握が必要だと思うので、丁寧な説明を心がける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		○面談や電話相談などを設けている	○面談以外で相談しやすい環境を再度検討していく。カフェを開くなど
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		○勉強会・食事を設けている	○お母さんイベントが多いので、お父さんイベントも考えていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			○なぜ苦情になったのか、しっかりと職員会議で話し合う必要がある。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			○ブログの更新が遅れているので、公式LINEを開設した。
	35	個人情報に十分注意している	5			○どこまでが個人情報かがわかっていない人もいますので、すべて個人情報だと認識する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			○周知する企画を検討中

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		○毎年度マニュアルを検討中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	○事主催の合同避難訓練に職員が参加している。定期的を実施している。	○研修スケジュールにしっかりと組み込んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	○年度で研修スケジュールを考え取り組んでいる。	○毎年研修会に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	5		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		○アレルギーが強いお子様には、おやつを持参してもらうなど対応していただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	○ヒヤリハットファイルを見えるところに置いている。	○どんなことでも記入してもらえるように大切さを伝えている。